

こどもエコクラブ 活動報告集2016



(こどもエコクラブ全国フェスティバル 2016)



秋田県



秋田県の環境に関する マスコットを紹介します



あすぴー

地球温暖化防止を県民総参加で推進するためのマスコットキャラクターです。あすぴー(あきた、ストップ・ザ・温暖化、ピープル、みんなで!)を見かけたら、「地球温暖化をなんとかしなくっちゃ!」と思って、具体的な行動・活動に結びつけていきましょう。

秋田(AK I T A)の「A」をモチーフにし、地球温暖化防止のために地球を抱きかかえ冷やしている姿をデザインしています。



クリンちゃん

秋田県の環境美化のマスコットです。花(ハート)・緑(葉)・夢(星)を図案化したもので、これらのマークを広げた両腕の中に抱える構図となっています。広げた両腕から飛び出そうとするマークは、私たち自らの手で美化に取り組むことにより、未来に向かって秋田県の環境が向上していくことをイメージしています。



森っち

秋田県水と緑のマスコットです。“森の友だち”という意味から「森っち」と命名しました。

森っちのデザインは、天然秋田スギの周りにつどい、ともに手を取り合い、身近な自然の中で「命の大切さ」を実感しているようすを表現しています。



せiryū 清龍くん

八郎湖水質保全キャラクターです。イラストの原案と名付け親は地元の小学生です。「八郎太郎伝説」に登場する、八郎瀧に住んでいたと言われる「龍」をモチーフにしています。

八郎瀧の水質を良くしようと、さまざまな活動に取り組む人々の共通の「シンボル」として、パンフレットなどに活用されています。

はじめに

平成7年度からスタートした「こどもエコクラブ」は、
平成28年度で22年目をむかえました。

平成28年度は29のクラブが登録し、2,569人(平成29年2月末現在)の
子どもたちが環境に関わるいろいろな活動を行いました。

この冊子は、各こどもエコクラブから今年度行った活動について
報告をいただき、それらをまとめたものです。

報告には、みなさんの今後の活動の参考となるところがたくさんあります。
これからの活動がさらに広く深くなるための手助けになれば幸いです。

また、各学校におかれましても、様々な学習の時間などに
活用されることを期待しています。



こどもエコクラブ
イメージキャラクター
エコまる

目次

こどもエコクラブってなに？ 4

みんなが応援しています！ 5

こどもエコクラブ活動報告

マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	6
ひろおもてエコクラブ	6
ちびっこクラブ（第二ルンビニ園）	7
秋田市立戸島小学校	7
岩見三内中学校エコクラブ（秋田市立岩見三内中学校）	8
イオン土崎港店チアーズクラブ	8
あきたみどりフレンド	9
旭川小学校清流キッズエコクラブ（秋田市立旭川小学校）	9
秋田東中学校科学部（秋田市立秋田東中学校）	10
秋大附中情報科学部（秋田大学教育文化学部附属中学校）	10
わくわくエコ工房	11
旭北小学校こどもエコクラブ（秋田市立旭北小学校）	11
太平小学校こどもエコクラブ（秋田市立太平小学校）	12
能代市立第四小学校4年エコキッズ（能代市立第四小学校）	12
十二所保育園エコクラブ	13
西館保育園リサイクルランド	13

西目シーガルエコクラブ（由利本荘市立西目小学校）	14
石沢小学校エコクラブ（由利本荘市立石沢小学校）	14
飯田川小学校エコクラブ（潟上市立飯田川小学校）	15
角間川小学校こどもエコクラブ（大仙市立角間川小学校）	15
どれみ保育園エコクラブ	16
平沢小学校エコクラブ（にかほ市立平沢小学校）	16
井川小学校エコクラブ（井川町立井川小学校）	17
美郷中学校総合科学部（美郷町立美郷中学校）	17
南っ子エコクラブ（北秋田市立鷹巣南小学校）	18

平成 28 年度登録クラブ一覧	19
-----------------	----

かべしんぶん	20
--------	----

こどもエコクラブ全国フェスティバルのようす	22
-----------------------	----

あきたの環境を考える体験について	24
------------------	----

「環境の達人」の派遣をしています	26
------------------	----

◎付録	28
-----	----



こどもエコクラブってなに？

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで、だれでも参加できる環境活動のクラブです。
平成28年度は、全国で2,001クラブ、113,839人(平成29年2月末現在)のこどもたちが参加し、活動しました。

* 主な活動は「**エコロジカルあくしょん**」「**エコロジカルとれーにんぐ**」の二つです。



各クラブが自主的に行う活動で、ゴミ探検、水生生物調査、自然観察、リサイクル活動など、環境に関することなら何でも「あくしょん」になります。



ニュースレターで紹介されるもので、毎日の生活の中で地球や環境のことを楽しく考えるプログラムです。

* クラブの会期は特に定めません。いつでも登録して活動が始められます。

* 会員になると、全国事務局から、活動に役立つヒントがたっぷりの「メンバー手帳」が送られます。

* 自分たちの活動報告をウェブサイトに掲載し(非掲載の選択も可)、多くの仲間に伝えることができます。お互いのクラブ同士の交流を深め、活動の幅を広げることができます。

* 活動を報告すると、スタンプがもらえます。スタンプを5個集めると、「アースレンジャー認定証」が授与されます。また、継続すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。



* 会員になるには、すでに登録されているクラブの会員になってもよいですし、仲間を集めて新しいクラブをつくってもよいです。入会金・会費は無料です。

こどもエコクラブの作り方

仲間を集めます

2人以上の仲間を集めます。

サポーターを決めます

クラブ活動を支えてくれる大人(20歳以上)のサポーターを決めます。

登録します

こどもエコクラブ全国事務局に届けば、クラブとして登録されます。

問い合わせ先

- ◎(公財)日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局……☎03-5643-6251
- こどもエコクラブウェブサイト……<http://www.j-ecoclub.jp/>
- ◎秋田県生活環境部温暖化対策課……☎018-860-1560

みんなが応援しています!

こどもエコクラブの活動を、県やこどもエコクラブ全国事務局などが応援しています。

秋田県から

* こどもエコクラブグッズの提供

会員の活動意欲と会員同士の連帯感を高めるために、新規会員に秋田県オリジナルこどもエコクラブのバンダナ、こどもエコクラブバッジ、シャープペンシルの3つから1つを提供します。



* 活動報告集の作成・配付

こどもエコクラブ活動の情報交換のため、その年度の活動を取りまとめた活動報告集(本冊子)を作成・配付します。

* 環境調査活動を行う際の器具の提供や講師の派遣

小・中学校で、酸性雨調査、水生生物による水質判定、パックテストによる河川湖沼の水質調査等、環境調査活動を行う際の器具を提供します。

また、調査器具や薬品の扱い方や判定方法などの専門的な話ができる講師も派遣します。

* 環境学習会等への講師の派遣(「環境の達人」)

こどもエコクラブや学校、各種団体が主催する環境学習会や研修会等へ環境カウンセラーなどの講師を無料で派遣します。

こどもエコクラブ全国事務局から

* こどもエコクラブ全国フェスティバルへの参加

1年間の活動内容をまとめた壁新聞・絵日記のコンクール「全国エコ活コンクール」に応募した秋田県のクラブの中から、1つのクラブが選ばれ、こどもエコクラブ全国フェスティバルに参加します。

平成28年度は、秋田市のマックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブが、平成29年3月19日に早稲田大学で開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル2017」に参加し、全国から集まった仲間達と交流しました。

秋田県では、東京で開催されるこどもエコクラブ全国フェスティバルに参加するクラブに対してメンバー3名までの旅費を補助していますので、奮って御応募ください。

* 保険について

こどもエコクラブ全国事務局は、こどもエコクラブに登録したメンバー、サポーターを「賠償責任保険」の対象として、保険の手続きを無料で行っています。

こどもエコクラブ活動報告



マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ

秋田市

S o T oで遊ぼう！ツリークライミング

曇り時々雨という天気でしたが、子供たちは、合羽を着ながら、ツリークライミングを楽しみました。

去年より、高いところまで上れるようにロープがつるしてあり、枝の中に子供たちの姿を見ることができました。子供たちは、葉っぱの揺れる音や、雨が葉っぱに当たる音を直接聞くことができました。体幹や姿勢が悪い子供はなかなか登れません。でも、何度も教えてもらい、何度も失敗しながら、体を1本のようにすると登りやすいということ、体験を通して学びました。また、途中まで降りてきたら、ブランコのようにいっぱいゆすってくれました。1本の長いロープにぶら下がり、ターザンのような気分でした。下から見てみると、子供たちが木の中にびったりはまっていて、楽しんでいる動物(?)のようでした。去年とは違った体験がまたできました。最後に修了証書を頂きました。



ひろおもてエコクラブ

秋田市

今年のひろおもてエコクラブは、1年生から6年生まで12人で活動しています。でも時には、まだ入学していない兄弟やおうちの方も参加して活動しています。

主な活動場所は秋田市広面地域で、秋田駅から歩いて30分くらいですが、住宅街とちょっとした林もある、街と自然が両方あるようなところです。

毎月1回活動し、季節毎に近くの林周辺の自然観察とゴミ拾いや、環境について学ぶ活動に色々取り組んでいます。他に、年2回は少し遠出して、普段は触れることができない、とてもきれいな川の水生生物の観察や、いつもとは違う林の観察を、ガイドさんの案内で散策したりという活動も取り入れています。

おおまかな年間計画はサポーターがたてていますが、子供たちからも途中要望が出たりして、子供たちの成長を感じています。

今年で10年めになった壁新聞づくりも、毎年違うアイデアがでて、楽しいですよ。





ちびっこクラブ

秋田市

日頃から廃材を利用し製作遊びを喜ぶ子ども達です。今回は冬の正月遊びの一つでもある、すごろくゲーム作りに挑戦してみました。台紙、コマ、サイコロでできる想像や考えを膨らませて作る手作りオモチャ。「おさるの温泉」というテーマで、大きな用紙にスタート、ゴールを決め色画用紙で切り貼りした風呂桶とコタツをマスにしてつなげていきます。トイレットペーパーを使っておさるのコマ、牛乳パックを切り開き、裏面に1～6の数字の目をマジックで書き込んだサイコロを作りました。身近にあった素材が子ども達一人ひとりの手でどんどん形を変え、他では買えないたった一つのすごろくゲームに！！個性豊かなかわいいおさるのコマに愛着がわいてきて、大切にロッカーに置いて遊びたい時に自由に使っています。ところどころのマスを大きくし、お題を子ども達と考えて書き入れ、いろいろな内容の物ができました。お菓子の空き箱をお風呂に見立て「お風呂に入って一回おやすみ」「おさるのまねをする」などユニークな発想で、目を輝かせて楽しんで取り組めたすごろくゲーム作り。何が起きるか予想できない楽しいすごろくゲーム。無事にゴールにたどりつくまで、ワクワクしながら夢中で遊び込んでいるこの頃です。



秋田市立戸島小学校

秋田市

戸島小学校は、水のきれいな岩見川が流れ、周囲を水田に囲まれた自然豊かな地域にあります。6年生をリーダーにして、6学年を縦割りにした12の「としまっ子グループ」、計83名でエコ活動に取り組んでいます。

「としまっ子クリーン大作戦」を、今年度も6月に実施し、学校の周辺の通学路を中心に4コースに分かれて清掃活動をしました。自然に親しみながら、一生懸命ゴミを集め、「戸島をきれいにしたい」「戸島っていいな」と、地域に対して、改めて愛着がわいたようです。

また、本校では、学団ごとに自然にふれあう様々な活動を行っています。1・2年生は、校地内にある「にここ農園」で地域の方を先生に迎えて野菜作りをしています。今年も、ミニトマト・枝豆・カボチャ・サツマイモなど様々な野菜を栽培し、笑顔で収穫しました。3・4年生は、日本野鳥の会の方を迎えてバードウォッチングをしたり岩見川の水についての調査をしたりして、地域のことを調べました。5・6年生は、中庭にある「夢花畑」で季節毎に花を植え替えて、花壇づくりに取り組み、学校を訪れる方々をきれいな花でお出迎えしています。



「にここ農園」で野菜作り



「バードウォッチング」で野鳥観察

こどもエコクラブ活動報告

岩見三内中学校エコクラブ

秋田市

本校の今年度の「総合的な学習の時間」の研究主題は、「『人・こと・もの』との関わり合いの中で、自己の生き方を考える生徒の育成」です。様々な存在との関わりを通じて他の考え方や生き方などにふれる中で、社会で自立し生きる自分の姿を見すえて、学び方やものの考え方を身につけ、自分の力で課題解決する力を培っていくことをねらいとして活動してきています。

今年度は、本校が毎年の活動として重ねてきている「環境学習」の発表会を紹介します。今回は、中学校3年生がこれまで調査したり話し合ったりしてきた環境問題を解決するための提案発表会を3つのグループで実施しました。他学年の生徒もすべて3つのグループに分け、すべての提案を全員が聞いた上で質疑応答や協議するというやり方で実施しました。特に1・2年生にとっては、学習の進め方やまとめ方などについて学ぶ貴重な体験になったと考えています。



イオン土崎港店チアーズクラブ

秋田市

こんにちは、イオン土崎港店チアーズクラブです。地域の小学生・中学生のメンバー14人で環境について学んでおります。

今年のテーマ『動物』陸の動物・海の動物みなさんの周りにはどんな動物がいますか・・・？

こどもたちは、陸の動物・海の動物を調べたり直接ふれ合いしたりして学んでおります。5月の大森山動物園で小さな生き物から大きな動物を目にして色々な視点で探んできました。直接えさをやったり触ったり、自然の生き物を観察することができました。春には、大森山動物園象の花子の糞を肥料とした里山の田植えも体験しております。また、冬には秋田の郷土料理代表の季節ハタハタを調べました。

イオン土崎店は、港が近くにあり海の資源が豊富な街です。海の動物として興味深く漁師さんの声を聞いたり資源を守る大切さと秋田の季節食材を県外の皆さんへ提供し秋田を知っていただく海の動物、鰯(はたはた)があります。

年々漁獲量がすくなくなっている事は山の木が伐採されて、豊富な栄養分を含んだ水が海に来なくなっていることも影響しているそうです。

自然環境保全として、山の栄養を海へと活動しております。白神山地の植樹祭へ毎年こどもたちは参加し続けております。

環境への取り組みとして今後も次世代を受け継ぐ子供たちは日々環境を学ぶ活動をしています。





あきたみどりフレンド

秋田市

平成 28 年度は、“それはなんでだろう” をキーワードに、里山に出て風や空気、雲の様子、森の生き物、花、樹木など自然に触れる体験を通して、環境保全と地球温暖化について学習しました。6月に行われた「第4回エコの森づくり学習会」(あきたエコマイスター県央協議会主催)には、私たちのクラブから3~5年生 15 名が参加しました。一般参加の子どもや大人を含めると総勢 55 名の参加があり、エコや地球温暖化についての関心の高さがうかがえました。

午前、里山の手入れされた森林を森の案内人と自然観察指導員からの説明を受けながら「森の役割とそこに住む生き物や毎年きれいに咲く花」など、空気や太陽の恵みのお陰で森が生かされていることを学びました。また、今年もカブトムシの幼虫を育てる貴重な体験も出来、カブトムシの育て方を習い、家で育てる優しい子どもたちが増えたことはとてもうれしく思います。山は多くの恵みを与えていることに気づき、お昼は摘み取った山菜をみんなでおいしく頂きました。

午後は、「地球と気温、森と人」との関係性を紙芝居で学習しました。終了後は、外の広場で昔懐かしい自転車の輪転がし、コマ回し、花のリング作りを初めて体験し、帰りのバスの中はみんな満足した表情で眠りについていました。

活動を通して、「おらほの自然を大切に保全する」、「自然の中での人間である」、「人と人との関わりを大事にすること」を学び、今後も活動を継続していきたいと考えています。



旭川小学校清流キッズエコクラブ

秋田市

毎年サケの稚魚の放流をしている旭川やその流域の自然について、3つのコースに分かれて、秋田市環境総務課の皆さんのお力をかりながら調べる活動をしています。

水コース

水メガネを使って水中をのぞいてみたり、川の底の石を寄せて水生昆虫や魚・カニを採取したりして、川の水のきれいさを調べました。その結果、学校の近くの旭川には、きれいな水にすむ生き物と少しきたない水にすむ生き物がいて、水はきれいだということが分かりました。

植物コース

河川敷公園周辺の植物を観察しました。外国から来た種類のもの(外来種)が意外に多いことや、毒草もあるということを知ることができました。今まで草の名前などを考えたことがなかったので、種類の多さに驚きました。

鳥コース

トビやカルガモが見られました。実際に鳥が見られなくても、落ちていた木の実や、木をつついたあとなどから、どんな鳥がいるかが分かるということを教えていただきました。



川の探検



植物探し



鳥の観察

こどもエコクラブ活動報告

秋田東中学校科学部

秋田市

私たち秋田東中学校科学部は、3年生7名、2年生14名、1年生12名、計33名で活動しました。イベントとして行う活動は、8月に秋田拠点センターアルヴェの自然科学学習館で行われるワークショップ（写真）や、9月に学校祭で科学の面白さを知ってもらうブースの運営などです。また今年は1年生が秋田市の施設見学会に参加し、大森山動物園へ行きました。11月には1、2年生が秋田県の環境の達人講座で環境と生物多様性について学びました。日常活動としては、各々が興味をもったことを研究テーマとして、実験・研究を行い調べた事を模造紙にまとめました。そして、3年生の3名が秋田市児童生徒理科研究発表会で「衣服の汚れと洗剤の濃度」というテーマで発表し県の発表会にまで進むことができました。この研究では、綿100%の白い布にトマトケチャップ、中濃ソース、コーヒーの3種類の汚れを付け、濃度を変えた洗剤で洗い、汚れの落ち方を調べました。その結果、使用量の目安通りの濃度で洗ったときが最もよく汚れが落ちることが分かりました。また、3種類の汚れの中ではトマトケチャップの汚れが最も落ちにくいことも分かり、追加実験として漂白剤の濃度と汚れ落ちの研究も行いました。実験の期間が短く結果を得るのは大変でしたが、科学者に必要なのは「諦めない心」と「協力」ということがよく分かりました。後輩の皆さんにはこの2つを忘れずに頑張っていってほしいと思います。



秋大附中情報科学部

秋田市

私たち秋大附中情報科学部は、生物・物理・化学など自分たちの興味のある分野にそれぞれ分かれ、グループごとに研究テーマを設定し日々活動しています。

今年の活動の中から一つ紹介します。毎日学校に持参している弁当に入っている「梅干し」が弁当を傷みにくくしているという話に着目し、「身近な食材等の抗菌作用」というテーマで、私たちの身近にある食材（ワサビ、緑茶、コーヒーなど数種類）にどれくらいの抗菌作用があるのかを調べました。食パンや切り花を使った実験を行ってカビの発生状況を調べたり、身近な食材（酢や重曹等）を使ってオリジナルの抗菌溶液を作り、風呂場でその効果を確かめたりしました。色々と調べを進めていくと、どの食材にも抗菌作用のみならず、様々なパワーや効果があることが分かり、病気予防等にも有効である食材が多いことが分かりました。

モノがあふれる豊かな現代は、便利な物が簡単に手に入る時代です。しかし、簡単に食べられたり、日持ちする食品には多くの添加物が使用されていたり、また手軽にカビや汚れをとることができる薬剤には、体に強い刺激のある成分が含まれています。こうした豊かな今だからこそ、身近にある自然パワーをうまく利用することによって、人にも環境にもやさしく健康的な生活が送れるのではないかと感じました。

今後も色々なものに目を向け、研究を続けていきたいです。





わくわくエコ工房

秋田市

7月10日(日) あきたエコマイスター県央協議会主催の第1回大森山公園の環境保全活動に参加してきました。家族3人で蒸気機関車の展示物をデッキブラシや雑巾でゴシゴシと丁寧に磨いたりして普段見たことのなかった蒸気機関車の運転席などしっかり見る事ができました。また正面玄関まで続くエントランスの花壇に夏を迎える花を参加した皆さんと一緒に楽しく植える事が出来ました。皆さんの団結力で、あっという間にちょっとさびしかった花壇が見違えるようにきれいに夏の花いっぱいになりました。そのあと象さん堆肥ができるまでの話を勉強するため、象さんの待つ動物舎へと向かいました。動物舎の中は清潔に清掃されており思ったより悪臭はしませんでした。堆肥作りは象さんの糞を3段階に分けて時間をかけて作っており出来上がった商品は手にとってもほとんど臭いもなく私たちの家庭菜園や大きな畑に使われていると聞き象さんの糞も私たちの暮らしに良い循環をして役立っていることを学ぶことができました。

私たちのクラブは家族クラブで少人数です。普段はゲーム機など、とっても楽しい子どもを夢中にする物が世の中に溢れている環境にあって例外に漏れず当会員も毎日ゲーム機に浸っている状況を見るにつけ自然に触れる機会をできるだけ多くつくってあげたいと思い、これからも家族単位から徐々に一人でも多くの子どもたちを野山へ誘い出す努力をしています。



旭北小学校子どもエコクラブ

秋田市

今年も、官庁街に囲まれた秋田市のだ真ん中から旭北小学校の野菜栽培について報告させていただきます。

毎年のようにたくさんのアドバイスを畑の先生から教えていただき、たくさんの野菜や花(ダリアと菊)、理科の学習で観察するヘチマなど、各学年が野菜の栽培体験を行いました。

4年生のヘチマは、今年も大きな実をたくさん付け、通る方を驚かせました。枝豆は、収穫時期が夏休みに入ってしまった、大豆として収穫しました。3年生の国語科の「すがたをかえる大豆」の学習に活用する予定です。

さて、今年も1・2年生のサツマイモは、大豊作でした。スーパーの袋に大きなサツマイモを詰めて笑顔一杯。家で食べた様子をみんなで紹介し合いました。写真の「サツマイモほり」とても楽しそうでしょう。

そして、畑の収穫物の最後を飾ったのは、大根です。1・2年生が一本ずつ抜いてお家で料理してもらいました。おでんになったのかな、大根おろしで食べたのかな。

今年も、たくさんの自然とふれ合うことができました。



「ヘチマ」の棚



「1年生・サツマイモほり」

こどもエコクラブ活動報告

太平小学校こどもエコクラブ

秋田市

太平小学校は全校児童 40 名の学校です。子どもたちは、学校田での稲作や校地内でのリンゴの栽培などを通して太平地区の自然の豊かさを感じられる活動に取り組んでいます。

まず、4・5年生が中心となり全校で稲作を行っています。田起こしと代かきは、地域ボランティア「アグリ倶楽部」のみなさんに作業していただき、4・5年生が見学を通して、土や水の働きと大切さを学びました。田植えと稲刈りは全校で行い、111kgの収穫がありました。とれたお米は、近くの老人ホームや太平幼稚園の園児、他にお世話になった講師や地域の方々等にプレゼントしています。

次に、6年生は地域のリンゴ農家の方の協力を得て、2つの品種のリンゴを栽培しています。春には受粉作業や摘果作業を行い、秋には葉摘みや玉回しの作業を行いました。今年には167個のリンゴを収穫しました。とれたリンゴはお世話になった地域の先生にプレゼントしたり全校で味わったりしました。

子どもたちは地域の自然がもたらす恵みを実感し、これからも太平の自然を大切に守っていききたいという気持ちを強くしました。



能代市立第四小学校4年エコキッズ

能代市

能代市立第四小学校4年エコキッズは、4年生93名から構成されています。総合的な学習の時間に「とびだせ！エコキッズ」という単元のもと毎年活動していて、9年目になりました。これまでと同様、社会科見学との関連を大切にしながら学習を進めてきました。

1学期には、浄水場、終末処理場、南部清掃工場、能代資源の見学や水生生物調査、2学期には、秋田エコプラッシュの見学を通して、「水」と「ごみ」に分けて個々でテーマを決め、見学シートや書籍をもとにして、調べ学習や調査活動などに意欲的に取り組むことができました。

調べた結果は、エコ新聞にまとめました。調べて分かったことをトップ記事として取り上げて、その根拠となるグラフや絵や図をレイアウトしました。水を選んだ人は、川を守る取り組み、節水、洗い物の仕方、水の再利用など、ごみを選んだ人は、ごみを減らす工夫、食べ物等を大切に作る心、リサイクルなどについてまとめていて、自らの生活の中で自分たちにできることを真剣に考え、友達や家族にもエコを呼びかけることができました。

学校生活の中でも、水の出し過ぎに気を付けたりごみの分別を心がけたりすること等を通して、エコについての学びを普段の生活に取り入れることができるようになりました。



十二所保育園エコクラブ

大館市

こどもエコクラブの活動も2年目になりました。今年度は、保護者から協力を得て集めた牛乳パックや新聞紙などの廃材を利用した子どもたちの遊具づくりに力を入れました。

牛乳パックでつくろう！

- ①1歳児保育室の廊下にすべり台を置いてあります。座ってすべることは勿論、うつ伏せや仰向けになりながらすべったり、階段を上がって窓から保育室を見たりすることも楽しんでいます。
- ②0歳児向けに階段と積み木をつくり、それらを組み合わせて、段差の上がり下がりや細い場所を歩くなど、遊びの中で様々な動きを引き出せるようにしています。大好きな保育士と一緒にスキンシップを取りながら笑顔を見せて遊んでいます。

肥料袋でつくろう！

- ③子ども一人一人、保護者からつくってもらった「そり」です。肥料袋の中に座布団を入れたり、好きなキャラクターの絵を付けたり、工夫が見られます。
- ④除雪でできた園庭の雪山。ちょっとデコボコの山でも、お家の人がつくってくれたそりだと、スルスルーっとすべることができます。年長児は、どこまで遠くにすべることができるか、速くすべることができるかを競争しながら何度も挑戦しています。

※来年度は・・・小学校、中学校、地域の人との交流が盛んな十二所地区。中学校と各町内が主催する草取りや町内清掃などへのお誘いも受けていますので、交流を図りながらエコクラブの活動を張り切っていきたいと思っています。



①すべり台



②階段と積み木



③手づくりそり



④そり遊び

西館保育園リサイクルランド

大館市

日本三大地鶏である比内地鶏で有名な、大館市比内町の西部に位置する西館保育園は、周囲が山林・田畑に囲まれた自然豊かな農村地帯にあります。

春夏秋までは、畑づくりを体験し、自ら育てた野菜を収穫するなど、食育にも取り組んでいます。

園内は、牛乳パックやダンボール、ペットボトル、自然物等を利用した手づくり品がいっぱいです。その一部を紹介します。

①は、牛乳パックやダンボールに化粧をして、オムツ・タオル入れとして、トイレ前に置いて使用。自立心のめばえに役立っています。

②は、牛乳パックを開いてコマを作りました。参観日には、親子でコマ回し大会を楽しみました。

③は、手づくりケン玉。牛乳パックに、新聞紙をまるめたボールを糸でつなぎ、ケン玉を楽しんでいます。

①以外は、子どもたちが楽しみながら自分で作れるので、遊ぶ喜びも倍増です。自分で作ったものは、壊れると考えると修理したり、物を大切にするという気持ちも生まれて、一石二鳥なんですよ。



こどもエコクラブ活動報告



西目シーガルエコクラブ

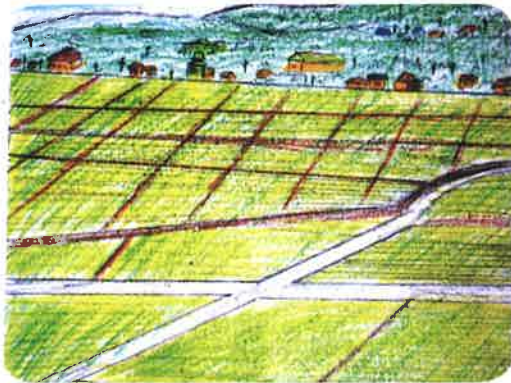
環境教育支援校

由利本荘市

5年生は、総合学習の中で、「知りたい！育てたい！西目のおいしいお米！」をテーマに1年間活動を続けてきました。これは、お米作りとともに、田んぼの働きを「環境保全」の面からも学習する機会になりました。

田んぼには、次の6つの大事な環境保全の働きがあると知って、驚いた私達です。

- 1 田んぼは気温の調節に役だっている
温暖化を防ぐ働きもするとは、驚きだ！
- 2 水を滲ませて洪水を防ぐ
川の護岸工事と同じで、洪水を防ぐとは驚きだ！
- 3 地下水のもとになる
- 4 酸素を作り出す
広い田んぼで、多量の酸素作りとは驚きだ！
- 5 生き物のすみかになる
ふだん目にしない多くの生物を発見し、驚きだ！
- 6 土の流出を防ぐ



～ 守りたい西目の美田 ～



石沢小学校エコクラブ

環境教育支援校

由利本荘市

石沢小学校は、山や田んぼ、川に囲まれた自然豊かな地域です。十数年前から、「ホタルの里づくり」に取り組み、進んで調べ、地域の自然の大切さやそれを守っていく活動を行っています。

学校の中庭には「せせらぎ」というビオトープを作り、ホタルの観察や生息に必要な環境を調べています。そこには、ゲンゴロウ・トビケラ・コオイムシ・カワニナが見られましたが、特にカワニナはホタルの幼虫のえさとなります。今年も、6月21日にホタルが見られました。また、地域のいろいろな所にも、ゲンジホタルやヘイケボタルが見られます。毎年、ホタルの見られる場所を示したホタルマップを作成し、地域の方たちにもお知らせしています。川の水質調査をしたところ、ホタルの見られるどの場所もきれいであることがわかりました。

石沢は、ホタルの住むすてきな里山です。今年、ホタルを見ることができた場所で必ずしも来年も見ることができるとは分かりません。それは、私たちがこの環境を守っていくことでできるようになると思います。ホタルの光ははかなくて美しいものです。それをこれからもずっと見続けたいという思いを強くもって、石沢のホタルや自然・地域の人たちをこれからも大切にしていきたいと思っています。



飯田川小学校エコクラブ

環境教育支援校

潟上市

飯田川小学校は秋田市の隣の潟上市にあります。学校の近くには広い田んぼが八郎湖へと続いて広がっていて、そのむこうに寒風山が見えます。

今回は、5・6年生が行っている環境委員会の活動を紹介します。環境委員会の主な活動は、月に1回のエコの日には節電や節水を呼びかけたり、みどりの羽根募金の呼びかけをしたりします。そして年間を通して学校の水槽の魚の世話やエコキャップ集めを行っています。

エコキャップ集めとは、ペットボトルのキャップを集めることです。ペットボトルのキャップは捨てるとただのごみ、燃やすと温室効果ガスが出るものですが、リサイクルしてお金に換えると、資源の節約になり、ワクチンなどが足りない国の子どもたちの役にも立ちます。環境委員会では、集まったペットボトルのキャップをみんなで汚れがないか確かめて仕分けします。ある程度集まると、市の社会福祉協議会へ届けています。地域の方も協力してくれるので、今年もたくさんのおキャップが集まりました。



「募金ありがとう」



ボックスの中には、たくさんのキャップが集まりました



「どうぞ役立ててください」

角間川小学校こどもエコクラブ

大仙市

角間川小学校は全校児童65人の学校です。角間川町は、大仙市の南側に位置し、雄物川と横手川が交わる豊かな穀倉地帯です。かつて水運が盛んだった頃は、大変栄えた地域で、今なお残る「はまぐら」（米や船で運んできた物資を蓄えた倉庫）や商店街が往時を物語っています。

角間川小学校では毎年、緑のカーテンと称して校舎南側にある畑に6年生がゴーヤのなえを植えています。ゴーヤの葉は豊かに茂り、夏の間1階の暑い日差しを遮ってくれます。

今年は天候の影響からか特に生育がよく、びっしりの葉で日陰を作ってくれました。それとともにゴーヤの実も大豊作となりました。そこで地域の皆さんへの日頃の感謝の思いをこめてプレゼントすることにしました。町内2カ所に月・水・金の週3日収穫したたくさんのゴーヤを持って行き、自由に持って行ってもらいました。担当の方のお話ではあつという間になくなるということでした。子どもたちも自分たちのゴーヤで地域の方々が喜んでくれることを嬉しく思っています。

ゴーヤの植栽は、日陰を作るのと同時に、児童と地域を結ぶ角間川小学校の伝統となっています。



毎日たくさんできたゴーヤ



校舎南側に繋るゴーヤ

こどもエコクラブ活動報告

どれみ保育園エコクラブ

大仙市

頑張ったよ！エコ活動

どれみ保育園のエコ活動は大きく分けて2つの活動があります。今年度も積極的に頑張ってきました。

まず1つ目。食のリサイクル、畑活動。給食の残さをニワトリのエサとします。そのニワトリのフン等を利用して、ふわふわな畑の土を作ります。その畑で子ども達は土にふれ、旬の野菜を収穫し、その野菜が給食の食材となります。畑活動の前にはニワトリさんにあいさつするのが習慣になっていて、このニワトリさんも大事などれみ保育園の仲間なのです。このように小さい頃から生き物を身近に感じ、生き物の命の尊さも学んでいるように感じます。

そして、2つ目が資源ゴミの分別。毎週月曜日がエコの日です。「混ぜればゴミでも分けると資源」を合い言葉にお家から出るアルミ缶やペットボトル等を分別します。今では近所の皆様のご協力も頂き、年々集まる資源ゴミが増え、改めて地域の方々に支えられているなあと実感します。

1年を通して2つの活動を頑張ってくれた子ども達は、春にはピカピカの1年生。エコ活動を通じて体はもちろん、達成感で心も大きく成長してくれました。



平沢小学校エコクラブ

にかほ市

本年度の平沢小学校のエコ活動について紹介します。

児童会本部では今年度もプルタブとペットボトルキャップの回収を行いました。児童会だよりで事前に家庭での回収を呼び掛け、9月26日(月)から30日(金)の5日間回収を行いました。朝、玄関前のコモンホールで児童会本部委員がプルタブやペットボトルキャップを回収した結果、回収したプルタブは大きいビニール袋に2袋分、ペットボトルキャップは8袋分とたくさん集めることができました。

環境委員会は、児童会だよりで節電や節水を呼び掛けています。毎日各学年棟の節電状況を調べ、結果を昼の放送で紹介しています。この活動以外にも、使用していない廊下の電気を消す、教室のストーブの温度設定を20～22℃にする、加湿器は少電力の弱運転にし、放課後にはすぐ消す、今年新しく設置された洋式トイレのヒーターの温度設定を低温にし、週末には確実に消すなど、省エネを中心としたエコ活動を全校を挙げて取り組んでいます。



プルタブ・ペットボトルキャップ回収



ペットボトルキャップのシールチェック

井川小学校エコクラブ

井川町

井川小学校エコクラブでは、今年度も地域の中を流れる井川の水生生物調査を行いました。井川の上流・中流・下流の3地点を、12名の子どもたちで正課クラブの時間や夏休みを使って2日間実施しました。

井川の上流は、川底が透きとおっていて、とてもきれいでした。そして、ヒラタカゲロウ・ヒゲナガトビゲラ・ヘビトンボなど、水のきれいな川に住んでいる水生生物を多く見つけることができました。自分たちのふるさとの川が思っていたよりもきれいだったことが分かり、子どもたちもうれしそう「水がきれいで気持ちいいよ。」でした。

中流に行くと、ナガレトビゲラやヨコエビなどの水生生物の他に、ヤマメ・オイカワなどの川魚や、カラスアゲハやイトトンボも多く見られ、まだまだ豊かな自然が残っている地域のよさを再認識できました。

下流では、川の色も少し濁っており、ヒルやミズムシなど水質階級でⅢに属する水生生物も見られましたが、「これから自分たちで川をもっときれいにしていこう。」「川にごみを捨てたりしないように、みんなに呼びかけよう。」という声が聞かれ、とてもよい経験ができました。



「どんな生物がいるかな？」

美郷中学校総合科学部

美郷町

今年度も、これまでの研究内容を引き継ぎ「トミヨ属雄物型の研究 Part.5」というテーマで研究を進めました。1年生8人、2年生12人、3年生9人で活動し、清水の環境やハリザッコの餌、稚魚の飼育、ピオトープでの個体数と体長の調査などを行ってきました。

稚魚の飼育結果とピオトープでの調査の結果から、ハリザッコは2年くらい生きる個体が多く、3年以上生きる個体は少ない傾向が見られることが分かってきました。しかし、この傾向は学校のピオトープにだけ見られるものである可能性も考え、今後も継続して調査していきたいと考えています。また、ハリザッコの解剖を行いエサとなっている生物を調べた際、寄生虫と思われる生物が発見されました。解剖した個体すべてで見られたため、ピオトープに生息しているすべての個体に寄生している可能性があります。ハリザッコにどのような影響があるのかを含め、引き続き調べていきたいと思えます。来年度もこの研究を継続し、絶滅危惧種であるトミヨ属雄物型を守っていききたいと考えています。



ピオトープでの調査の様子



ハリザッコの腸内にいた寄生虫

こどもエコクラブ活動報告



南っ子エコクラブ

北秋田市

クラブ紹介：南っ子エコクラブは今年度初めて全校 76 名で秋の育林教室を実施しました。「あったかハートの森」に集い、子ども達の声でにぎわいました。今年度、全国緑化活動コンクール「学校林」の部で「準特選」を受賞しました。「みんなが集ういこいの森」になるように、今年も杉の苗木を植樹しました。更に杉の活用の仕方をたくさん学び、5年生は炭焼き体験も行いました。体験後はみんなで炭を使った料理作りやなべっこ会にもたくさん使いみんなで楽しむことができました。今年度の活動テーマは、「自然の恵みに感謝しよう」です。

子どもたちのコメント



● 初めてあったかハートの森へ行きました。大きな杉になっていてびっくりしました。わたしもお兄さん達のように木を植えてお世話したいです。



● 9月に行った夏の育林教室では杉や広葉樹を炭にして活用する炭焼き体験をしました。その炭を昼食やなべっこ会で使いました。

学校環境教育支援校とは？

県では、小・中学校6校程度を環境教育支援校に指定し、観察・実験器具等を提供することにより、環境教育・環境学習の支援をしています。

環境教育支援校に指定された学校には、次の①～④の学習に必要な器具等（1校あたり、税込3万円程度）を提供します。

なお、指定を受けた場合は、こどもエコクラブの登録と、活動報告の提出が必要です。

提供される物品の例

- ① 学習指導要領における「環境教育」に関わる学習に必要な観察・実験器具等
- ② 学校独自のプログラムとして、児童会、生徒会が中心となって進める環境活動や、地域の特色を活かした水質調査などに必要な器具等
- ③ 地球温暖化を防ぐ取組として、緑のカーテンの材料等
- ④ 北東北三県共通環境ワークブックを用いた学習に必要な教材等

環境教育支援校についてのお問い合わせは、

秋田県生活環境部温暖化対策課（018 - 860 - 1560）までご連絡ください。

平成28年度登録クラブ一覧

No	クラブ名	会員数	サポーター数	市区町村名
1	マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ	45	23	秋田市
2	ひろおもてエコクラブ	12	6	秋田市
3	せいらいエコクラブ	100	18	秋田市
4	ちびっこくらぶ	88	34	秋田市
5	秋田市立戸島小学校	83	15	秋田市
6	ハッピーハッピー	4	2	秋田市
7	岩見三内中学校エコクラブ	29	13	秋田市
8	若駒学童クラブ	59	9	秋田市
9	イオン土崎港店チアーズクラブ	8	2	秋田市
10	あきたみどりフレンド	20	2	秋田市
11	秋田東中学校科学部	33	1	秋田市
12	秋大附中情報科学部	54	1	秋田市
13	泉児童センター	66	3	秋田市
14	わくわくエコ工房	4	4	秋田市
15	旭北小学校こどもエコクラブ	297	19	秋田市
16	太平小学校こどもエコクラブ	40	4	秋田市
17	旭川小学校清流キッズエコクラブ	193	10	秋田市
18	能代市立第四小学校4年エコキッズ	548	51	能代市
19	十二所保育園エコクラブ	21	10	大館市
20	西館保育園リサイクルランド	50	6	大館市
21	西目シーガルエコクラブ（支援校）	333	20	由利本荘市
22	石沢小学校エコクラブ（支援校）	73	1	由利本荘市
23	飯田川小学校（支援校）	195	19	潟上市
24	角間川小学校こどもエコクラブ	65	15	大仙市
25	どれみ保育園エコクラブ	18	3	大仙市
26	南っ子エコクラブ	75	27	北秋田市
27	平沢小学校エコクラブ	16	1	にかほ市
28	井川小学校エコクラブ	12	2	井川町
29	美郷中学校総合科学部	28	1	美郷町

合計	2,569	322
----	-------	-----

平成 29 年 2 月末現在

かべしんがばん

マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ



メンバーからのアピール

- ・川の生き物の絵をがんばった。
- ・馬とヒトの違いの絵をがんばった。
- ・ツリークライミングの作文を書いたので読んでください。
- ・松の葉を貼るのを頑張ったので見てください。
- ・知らない人に大きな声で募金を呼び掛けました。

サポーターから

自然や科学に対する興味関心を持てるように、外で体を動かして「体験する、感じる、考える」ことを大切にして楽しく活動しています。また、保護者にも環境や自然、科学などにについて子どもたちが何をどのように学んで(遊んで)いるのかを伝える機会をつくっています。

ここで紹介する壁新聞は、こどもエコクラブが普段の活動や環境について調べたことをまとめ、エコクラブのなかまや地域の人たちに紹介するためにつくったものです。

ひろおもてエコクラブ



メンバーからのアピール

ぼくたちひろおもてエコクラブは、自然豊かな秋田で、自然を守る活動、自然にふれる活動や地域のお祭りへの参加をしています。色々な学年の人との交流や日頃から自然を守る活動をしている方々との交流もあります。自然とふれ合うことで楽しく自然の素晴らしさを知ることができる素敵なクラブです。

サポーターから

新聞づくりも今年で10年目になりました。最初の頃は、かなりサポーターが声をかける部分も多くあったのですが、毎年取り組んできたので、上の学年になるとリーダー的に作業できているので成長ぶりがよく分かります。1年生も必ず活動を通して思い出に残ったことなどをまとめることにしているので、各自でまとめたカードをもとに、「今年はどうな構成にしようか」と話し合うところから始まります。それぞれが得意なこと、イラスト、構成などを分担してワイワイしながら書き上げました。今回は、メンバーから「ぜひ応募しよう！」と声が出て取り組みました。

かべしんぶんを作ってこどもエコクラブ

*こどもエコクラブ全国フェスティバルとは？

全国の「こどもエコクラブ」の関係者が一堂に会し交流を深めるとともに、各地で展開されている活動の紹介を通して、「こどもエコクラブ」事業を始めとする環境保全活動の定着拡大を目的に3月下旬に毎年開催されています。

こどもエコクラブ全国フェスティバルに都道府県の代表として参加するメンバーは、お互いの壁新聞や絵日記をもとに活動を紹介し合ったり、企業の特設ブースを見学したりして、全国の仲間たちと一緒に学び交流することができます。

*参加するには？

こどもエコクラブの仲間と一緒に活動して楽しかったこと、学んだことなどをまとめた壁新聞か、絵日記を作り、こどもエコクラブ市町村事務局、または、こどもエコクラブ秋田県事務局に応募する必要があります。(毎年10月頃に各クラブにお知らせしています。)

*どんな内容なの？

各県の代表クラブは、午前に6つのチームに分かれ、壁新聞をもとにクラブの活動を発表し合い、チーム内で投票してチームNo.1クラブを決定します。午後の本選では、予選で1位になった6つのクラブがステージで活動発表をします。参加者全員が一番良かったクラブに一人一票投票し、「こどもエコクラブ大賞」が決まります。また、交流タイムや協賛企業のブース見学など、楽しい催し物もあります。

*2015年度のこどもエコクラブ全国フェスティバルの様子を紹介します。 期日：平成28年3月20日 会場：早稲田大学西早稲田キャンパス

交流タイム

全国から集まったメンバーは、これからの発表を前に緊張してソワソワ。そんなメンバーの緊張をほぐし全国の仲間と楽しく交流できるよう、「All Japan Youth Eco-club」のお兄さん・お姉さんたちが考えた「ともだち なんにんできるかな!？」を行いました。メンバーは、オリジナルの名刺を使って、全国の仲間たちと友だちになりました。



全国フェスティバルに参加しよう！

予選

秋田県代表の「マックスバリュ東北秋田イオンチアーズクラブ」はメンバー6名と、サポーター2名の参加でした。活動の様子や活動を通して学んだことを元気よく発表しました。



表彰

壁新聞の表彰は、こどもエコクラブの活動を応援している環境省から三好信俊総合環境政策局長にお越しいただき、環境大臣賞が授与されました。

みんなで選ぶ「こどもエコクラブ大賞」は鹿児島県の「イオン鹿児島店チアーズクラブ」が選出されました。会場からは、受賞したクラブと全てのクラブの活動の素晴らしさを称える温かい拍手がわきました。



絵日記

壁新聞のほか、絵日記についても表彰があります。一番思い出に残った活動を絵日記にまとめて、発表しあいました。



出展ブース

多くの企業等のブースがあります。活動や環境配慮についてのお話が聞けます。また、製品のサンプルなどが提供されました。



* 参加費用は？

平成28年度は、壁新聞で特別賞を受賞したクラブに対して、全国事務局からサポーター1名とメンバー2名分の旅費が補助されました。秋田県では、メンバー3名までの旅費を支援します。

あきたの環境を考える体

県では平成26年度から、小学3年生以上の親子を対象として、「あきたの環境を考える体験」事業を行っています。

この事業は、秋田の環境を守る取組をしている事業所などを実際に見学し、未来のあきたの環境について考える機会にさせていただくことをねらいとしています。

第1回は「**電気のゆくえ**」をテーマとして、平成28年7月28日に実施しました。



- * 秋田国見山第一風力発電所の見学をしました。遠くからはよく見かけるのですが、真下から見上げると迫力満点！
- * 説明を聞いたあとで、塔内の設備を見せていただきました。災害時の非常電力供給にも一役買っているとのこと。

- * 秋田火力発電所では、環境を守るための技術を実験を交えてわかりやすく教えてくださいました。展示室では、たくさんの質問に丁寧に答えていただきました。



- * 巨大な発電機や中央制御室などを見学しました。



験

第2回は「ごみのゆくえ」をテーマとして平成28年8月18日に実施しました。



* 株式会社エコリサイクルでは、エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などから、有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物を減量するとともに、資源の有効利用を行っています。



* テレビなどは、一台ずつ手作業で分解し、素材ごとに分けていました。素材の違うものが混ざらないようにすることで、リサイクル原料の質もよいものになります。



* 秋田ウッド株式会社では、廃プラスチックと廃木材から再生木材を生産しています。プラスチックの腐らないよさと木材の特長を生かした再生木材の多くは、大学やホテル、公園などにあるウッドデッキや柱、看板などに使用されています。再生木材は回収し、くり返し原料として使用することができます。



* 株式会社北秋容器では、使えなくなったガラスびんを粉にして、軽石のように焼き固めた「スーパーソル」というリサイクル製品を作っています。軽くて水はけがよく、土木や農業などの分野で使われています。ガラスが自然素材なので、スーパーソルも自然に還ります。また、廃木材から、ペレットストーブなどの燃料となる木質ペレットも製造しています。

「聞いたことがある。」、「学校で習った。」、「テレビやインターネットで観て知っている。」でも、間近で見て、触れて、環境を守る人たちの思いに耳を傾けたあとの「知っている。」は、きっと何か違います。

「環境の達人」を派遣しています

「環境の達人」地域派遣事業とは、市町村、学校及び住民団体等が主催する講演会、学習会等へ、環境問題・環境保全に関する先生を派遣する事業です。「環境の達人」は、小学校の理科や家庭科のメニューも用意しています。こどもエコクラブでも活用してみませんか？

体験型講座

川の生物を調べよう

地域を流れる河川の透明度やpH、捕獲された指標生物から、河川のきれいさや地元の自然の大切さを学ぶ。

プログラム例(小学校)

- ①川の水質を調べる
- ②実際に川に入って水生生物の捕獲、観察



リメイクキャンドル作り

不要となったろうそくを使ったキャンドル作りを通じて、楽しくエコや環境問題について学ぶ。

プログラム例

- ①エコについてのお話
- ②キャンドル作り

※紙コップやガラスケースなどの容器、クレヨンなどの材料費はご負担いただきます。

木はがき作り

秋田杉の端材を用いた、しおりや木ハガキ作り。匂いによる木の種類別判別等を体験しながら、CO₂吸収源、生物多様性などの森の役割や、里山に代表される人と森林との関係、年輪の意味等を学ぶ。

※秋田杉端材、クラフト紙などの材料費はご負担いただきます。



省エネクッキング

地球温暖化が食材に及ぼす影響、食材の産地によるフードマイレージ、調理方法等、省エネやごみ減量と調理の関連を学び、調理体験を行う。

プログラム例(小中学校)

- ①地球環境問題、「食」と地球温暖化の関係について講義
- ②調理実習、試食

※食材などの材料費はご負担いただきます。



フロンと私たち

温室効果の高いフロンガスについて学び、冷蔵庫を模した実験キットやサーモカメラを用いてフロンを含む断熱材からノンフロンの断熱材への進化を体験。“正しく捨てる”ことの大切さ、“ノンフロン”製品について学ぶ。



実験時小学生が撮影したサーモカメラ画像



ゲームを取り入れた自然体験学習や、自然エネルギーを使った調理体験、かわいいアイテムが作れるリサイクル講座もあるよ。

※ここに掲載したのは活用例です。学校の実情に合わせて適宜プログラムを変更できます。また、メニュー以外の達人の派遣もたくさん用意しています。

連絡先：秋田県生活環境部 温暖化対策課(018-860-1560)

講義・ワークショップ型講座

地球温暖化と省CO₂住宅

北国秋田における住宅のエネルギー使用量や、健康に与える影響(ヒートショック等)、また断熱や高効率給湯器、窓サッシ等の省エネ住宅のための取組について学ぶ。

国際的環境戦略

生物多様性や地球温暖化、それらを取巻く国際条約、また、それらの分野で活躍できる人材となるための“志”や“技能”について学ぶ。

※学年単位や全校生徒等、比較的人数の多い講座を対象とさせていただきます。

風力発電の現状と将来

風のエネルギーが生み出す電気的なエネルギーについて、発電効率の考え方、秋田県のポテンシャル、欧米の取組との比較などを通じて、近年県内で注目される風力発電について学ぶ。

地球温暖化と森林の役割

植樹や間伐による自然林再生の可能性や、森林の生態に関すること、また人と自然の関わりについて講義形式で学ぶ。



地球温暖化と農業

一般的な地球温暖化のメカニズムや国際条約、秋田県の取組の他に、依頼団体の業種に応じた現状の整理に引き続き、農業と温暖化の関連性や地球規模の土壌環境問題などについて学ぶ。

家庭でできる省エネ活動

全国や秋田県の家庭部門からのCO₂排出の現状や、排出量の多い分野における省エネ活動とその効果について学ぶ。

環境放射能って？

「霧箱」を用いた放射線の飛跡観察を行い、放射能について(性質、霧箱実験、放射能の人体への影響、利用等)を学ぶ。

プログラム例

- ①放射能の正体、性質についての講義
- ②霧箱を使って自然界にある放射線の飛跡を観察
- ③発電や医療などへの放射線の活用や、人体への影響などを知る。

※霧箱観察に使用するドライアイスの費用はご負担いただきます。



中学生が飛跡を観察

カーボン・オフセットって？

地球温暖化の概要から、カーボン・オフセットの基礎知識、取組状況や事例紹介など、小学生も楽しく学べる初心者講座。ワークショップによる参加型講座も可能。



開発途上国から学ぶ環境教育

開発途上国における環境問題や、国際協力・開発教育について、教材を活用した参加型ワークショップで学ぶ。

もっと知ろう！エネルギーのこと

エネルギーの種類や原子力発電を含む発電の仕組み、世界におけるエネルギー生産や消費などについて、参加型のワークショップまたは講義形式で学ぶ。

ここでご紹介した内容は活用例です。他にもたくさんの講座がありますので、お気軽にお問い合わせください。

登録用紙

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

記入日: 年 月 日

クラブ名					メンバー人数 (子ども)	人
					サポーター人数 (大人)	人
メンバー学年内訳 ※年齢・学年は、 年度当初(4月)時点を入 入してください。 ※高校生記入欄は、同年 齢のメンバーも各学年にあ てはめて、記入してくださ い。サポーターとしても登 録できます。	幼児(3歳)	人	幼児(4歳)	人	幼児(5歳)	人
	小学1年生	人	小学2年生	人	小学3年生	人
	小学4年生	人	小学5年生	人	小学6年生	人
	中学1年生	人	中学2年生	人	中学3年生	人
	高校1年生	人	高校2年生	人	高校3年生	人
代表サポーターの 連絡先	氏名				JEC 活動年数	
	住所 〒				年目	
	TEL				FAX	
	E-mail				*今年はいじめて登録する場合、 1年目と記入してください。	
活動ツール ※クラブ単位でいずれか 1つを選び☑をしてください	こどもエコクラブ手帳 ほか (<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要) ※不要とした場合にも、ツールは1部届きます。					
グループの種類 ※該当するものに☑をしてく ださい。	<input type="checkbox"/> 近所や地域のお友達 <input type="checkbox"/> 家族・親戚 <input type="checkbox"/> ボーイ・ガールスカウト <input type="checkbox"/> 子ども会 <input type="checkbox"/> 児童館や公民館のクラブ <input type="checkbox"/> 自治体の募集 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園(□クラス・□全園) <input type="checkbox"/> 学校の(□クラス・□クラブ・□委員会・□学年・□全校 →学校名:) *総合学習としての実施についても記入してください。(□YES・□NO) *異クラス混合の場合は学年へ、異学年混同は全校へ☑をしてください。 <input type="checkbox"/> その他()					
取り組みたい 主な活動分野に☑をして ください(複数可)。	<input type="checkbox"/> ごみ・リサイクル <input type="checkbox"/> 生活・省エネ <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 自然・生物多様性 <input type="checkbox"/> 農業・栽培 <input type="checkbox"/> その他()					

～大人の方へ～

●メンバー・サポーターになると

- ◇メンバーには、こどもエコクラブ手帳などの活動役立つツールが、代表サポーターには応援マニュアルなどが届きます。(ツールは、希望に応じてクラブ単位で選択できます。)
- ◇メンバーズバッジを販売(100円(送料・税込)/個)しております。ご希望のクラブまたは市区町村事務局はウェブサイトをご参照ください。

●注意事項

- ◇活動中の第三者への事故に対応するため、クラブの登録と同時に、全国事務局がメンバー・サポーターを対象とした賠償責任保険の加入手続きを行います。名簿の提出はメンバー・サポーターともに不要ですが、賠償責任保険の手続き上、名簿は必ずクラブで備えてください。
- ◇サポーターが複数のクラブを担当している場合には、ツールの重複を避けるため、2つ目以降のクラブでは、サポーター人数としてカウントしないでください。(クラブで備えていただく名簿には、名前を記載してください。)
- ◇高校生は、サポーターとしても登録ができます。(代表サポーターでの登録はできません。)
- ◇クラブ名、代表サポーターの連絡先、メンバーの人数、クラブの解散等、登録内容を変更する場合は、こどもエコクラブ全国事務局または地方事務局に必ず変更・解散届を提出してください。

●個人情報保護方針について ● 公益財団法人日本環境協会 (以下、当協会という。)は、個人情報を尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、当協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。

1. 個人情報の利用目的: 当協会は、こどもエコクラブ事業(以下、当事業という。)を行うにあたり、収集した個人情報を、本事業の支援にかかる環境関連情報の資料等の配布、賠償責任保険等の運用上必要な情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含みます。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他当事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で業者に業務を委託することがあります。ただし、必要な項目を正しくご記入いただけない場合には、適切な対応ができないこともございますのでご了承ください。

2. 個人情報の共同利用: 収集した個人情報は、本事業の地方事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記1.の利用目的においてのみ共同して利用します。

3. 個人情報の管理: 収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。

4. 個人情報の訂正・削除・開示: 収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承諾がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第23条第1項、第4項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、当協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

●あなたのまちのこどもエコクラブ事務局

こどもエコクラブは、子どもたちが誰でも参加できる環境活動のクラブです。
こどもエコクラブ全国事務局 (公益財団法人 日本環境協会)
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階
TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250

■こどもエコクラブウェブサイト:

<http://www.j-ecoclub.jp/>

エコまるは公益財団法人日本環境協会の登録商標です



JEC 継続届

登録番号 ※この番号は全国事務局で記入します。

記入日: 年 月 日

こどもエコクラブ(Junior Eco-Club)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成28年度
↓
平成29年度



I. 下記については必ずご記入ください。※引越しをされた方は必ずII(2)に新住所をご記入ください。

都道府県	市区町村			メンバー人数 (平成28年度スタート時点)	人	
現在のクラブ名				サポーター人数 (平成28年度スタート時点)	人	
メンバー人数内訳 ※年齢・学年は、平成28年4月時点を記入してください。 ※高校生記入欄は、同年齢のメンバーも各学年にあてはめて記入してください。サポーターとしても登録できます。	幼児(3歳)	人	幼児(4歳)	人	幼児(5歳)	人
	小学1年生	人	小学2年生	人	小学3年生	人
	小学4年生	人	小学5年生	人	小学6年生	人
	中学1年生	人	中学2年生	人	中学3年生	人
	高校1年生	人	高校2年生	人	高校3年生	人
活動ツール選択 ※クラブ単位でいずれかを選び☑をしてください ※サポーターには、代表1名のみでの送付となります	<input type="checkbox"/> 不要 ※不要とした場合にも、代表サポーターには1部送付します。 <input type="checkbox"/> 必要 : メンバーズバッジ・情報紙 <input type="checkbox"/> 必要 : 全ツール(こどもエコクラブ手帳(小学生以上)/エコカード(幼児)、メンバーズバッジ、情報紙) ※こどもエコクラブ手帳を希望したクラブには、年度末にアンケートにご協力いただきます。					
今年度の主な活動 ※クラブの主な活動、取り組みたい活動分野に☑をしてください(複数可)。	<input type="checkbox"/> ごみ・リサイクル <input type="checkbox"/> 生活・省エネ <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 自然・生物多様性 <input type="checkbox"/> 農業・栽培 <input type="checkbox"/> その他()					

II. 内容に変更がある場合には、該当する☐にチェック☑してご記入ください。

☐クラブ名変更⇒(1)へ ☐代表サポーターの連絡先変更⇒(2)へ ☐グループの種類⇒(3)へ

(1)新しいクラブ名			
(2)代表サポーターの連絡先 (活動ツール等送付先) 活動に役立つ情報を定期的にEメールでお送りしています。ぜひ、ご登録ください。	氏名	JEC 活動年数 年 月	
	住所 〒		
	TEL()	—	FAX ()
	E-mail		
(3)グループの種類	<input type="checkbox"/> 近所や地域のお友達 <input type="checkbox"/> 家族・親戚 <input type="checkbox"/> ボーイ・ガールスカウト <input type="checkbox"/> 子ども会 <input type="checkbox"/> 児童館や公民館のクラブ <input type="checkbox"/> 自治体の募集 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> 学校の(☐クラス・☐クラブ・☐委員会・☐学年・☐全校 →学校名:) ・総合学習として実施している→☐YES・☐NO ・異クラス混合の場合は「学年」へ、異学年混同は「全校」へ印をしてください。 <input type="checkbox"/> その他()		

●個人情報保護方針について● (公財)日本環境協会(以下、当協会という。)は、個人情報を尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、当協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。
 1. 個人情報の利用目的: 当協会は、こどもエコクラブ事業(以下、当事業という。)を行うにあたり、収集した個人情報を、本事業の支援にかかる環境関連情報の資料等の配布、賠償責任保険等の運用に必要な情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含みます。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他当事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で業者に業務を委託することがあります。ただし、必要な項目を正しくご記入いただけない場合には、適切な対応ができないことをご案内させていただきます。2. 個人情報の共同利用: 収集した個人情報は、本事業の地域事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記1.の利用目的においてのみ共同して利用します。3. 個人情報の管理: 収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。4. 個人情報の訂正・削除・開示: 収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承諾がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第23条第1項、第4項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、当協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。

・活動中の第三者への事故に対応するため、クラブの登録と同時に、全国事務局がメンバー・サポーターを対象とした賠償責任保険の加入手続きを行います。全国事務局への名簿提出はメンバー・サポーターともに不要ですが、賠償責任保険の手続き上、氏名・学年・性別等を記載した名簿をクラブで備えておいてください。
 ・サポーターが複数クラブを担当している場合には、ツールの重複を避けるため、2つ目以降のクラブではサポーター人数としてカウントしないでください。(クラブで備えていただく名簿には、氏名を記載してください。)
 ・高校生は、サポーターとしても登録できます。(代表サポーターでの登録はできません。)

●提出先

こどもエコクラブ全国事務局もしくは地域事務局(こどもエコクラブを応援している都道府県・市区町村の窓口)へ
 ※地域事務局は、こどもエコクラブウェブサイト内「お問い合わせ」でご覧いただけます。

●お問い合わせ先

こどもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)
 〒103-0002
 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F
 TEL: 03-5643-6251 FAX: 03-5643-6250 E-Mail: j-ecoclub@eic.or.jp

■こどもエコクラブウェブサイト : [http:// www.j-ecoclub.jp/](http://www.j-ecoclub.jp/)

エコまるは公益財団法人日本環境協会の登録商標です



こどもエコクラブ 変更・解散届

提出先 : お住まいの市区町村のこどもエコクラブ事務局
もしくは
こどもエコクラブ全国事務局 公益財団法人日本環境協会
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16-9F
TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250

記入日: 年 月 日

<以下のいずれかにチェックし、目的に応じて必要事項をご記入ください>

※都道府県、市区町村、クラブ名は変更該当しなくても必須でご記入ください。

※複数のクラブを担当している方で変更・解散をする場合は、コピーしてご使用ください

変更届 (該当する□にチェック(✓)のうえ、下表にクラブ名と変更後の内容のみをご記入ください)

クラブ名変更

人数・学年内訳変更

代表サポーターの連絡先変更

解散届 (「都道府県・市区町村」「クラブ名」のみご記入ください)

都道府県 (必須)	市区町村 (必須)	変更				
		変更前	増減	変更後		
クラブ名(必須)		メンバー人数 (こども)	+ () 人 - () 人	人		
【クラブ名変更の場合のみ記入】 変更前のクラブ名:		サポーター 人数	+ () 人 - () 人	人		
【内訳変更の場合のみ 記入】 メンバー学年内訳 ※変更後のすべてのメンバー の内訳をご記入ください。 ※高校生記入欄は、同年齢の メンバーも各学年にあては めて、記入してください。 サポーターとしても登録でき ます。	幼児(3歳)	人	幼児(4歳)	人	幼児(5歳)	人
	小学1年生	人	小学2年生	人	小学3年生	人
	小学4年生	人	小学5年生	人	小学6年生	人
	中学1年生	人	中学2年生	人	中学3年生	人
	高校1年生	人	高校2年生	人	高校3年生	人
【代表サポーター変更 の場合のみ記入】 代表サポーターの 連絡先	氏名		JEC 活動年数	年目	今年をはじめ登録する 場合、1年目と記入し てください。	
	住所 〒					
	TEL () -			FAX () -		
	E-mail					

●注意事項

- ・高校生はサポーターとしても登録できます(代表サポーターでの登録はできません)。
- ・本届にて解散を申請したクラブの登録情報は、(公財)日本環境協会のプライバシーポリシーに則り、迅速かつ適切に削除いたします。

●個人情報の取り扱いについて

公益財団法人日本環境協会(以下、弊協会という。)は、個人情報を尊重し、個人情報保護に関する法令及びその他関係法令を遵守するとともに、弊協会の個人情報保護基本方針に則って個人情報を取り扱います。

1. 個人情報の利用目的: 弊協会は、こどもエコクラブ事業(以下、本事業という。)を行うにあたり収集した個人情報を、ニュースレターや本事業の支援にかかる環境関連情報の資料等の配布、賠償責任保険等の運用上必要な情報管理、サービス等改善のための事業(アンケート調査を含む。)の実施、新たなサービスや環境関連情報の発信、その他本事業の実施に付随する業務を行う目的の範囲内で利用します。なお、利用目的の達成に必要な範囲で業者に業務委託することがあります。ただし、必要な項目を正しくご記入いただけない場合、適切な対応ができないこともございますのでご了承ください。2. 個人情報の共同利用: 収集した個人情報は、本事業の地方事務局として登録した都道府県及び市区町村と上記1.の利用目的においてのみ共同して利用します。3. 個人情報の管理: 収集した個人情報の漏洩、滅失、毀損または改ざんの防止、その他収集した情報の適切な管理を行います。また、事務局従業員及び業務委託先等に対して、個人情報の管理の指導と適切な監督を行います。4. 個人情報の訂正・削除・開示: 収集した個人情報は、ご本人から登録されている個人情報について訂正・削除・開示の請求があった場合は、迅速に対応します。第三者から開示の請求があった場合は、ご本人の承諾がない限り開示しません。ただし、個人情報保護法第23条第1項、第4項およびその他の法令の規定に基づく場合は、この限りではありません。情報の訂正・削除・開示を希望される場合は、弊協会こどもエコクラブ全国事務局までご連絡ください。

平成 28 年度 こどもエコクラブ アースレンジャー認定証 申込用紙

締切：平成 29 年 6 月 30 日(木) 全国事務局必着

アーススタンプを 5 個あつめると、地球を守るアースレンジャーとして認定します。

さらに、3 年間活動したメンバーに銀バッジ、6 年間活動したメンバーには金バッジがもらえます。

下記に必要事項を記入の上、こどもエコクラブ全国事務局に FAX かメールでお申込ください。

送 信 先：こどもエコクラブ全国事務局（公益財団法人日本環境協会）

FAX：03-5643-6250 E-Mail：j-ecoclub@eic.or.jp

ク ラ ブ 名： _____ 代表サポーター名： _____

住 所： 〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

アースレンジャー認定証： 枚 / 銀バッジ： 個 / 金バッジ： 個

【クラブの活動】

No.	活動年月日	場所	活動内容
(例) 1	2015/5/18	アース川	ゴミ拾いをし、川の魚を観察した。

[備考] ※必着希望日などがあれば記載してください

注 1) メンバー手帳 P39 の「アースレンジャー認定証申込用紙」の原本は、全国事務局に送付していただく必要はありません。サポーターにて、子どもたちが集めたスタンプ数に間違いがないかどうかご確認いただき、メンバーにご返却ください。

注 2) 発送は 11 月から開始します。その後は、お申込みいただいてから 1 週間程度でお届け予定です。お急ぎの場合は必着希望日を備考欄にご記入下さい。



クラブ名(自治体の場合は部局名)

の活動報告用紙

住所 〒 —			
サポーター名(自治体の場合は担当者名)*		TEL*	
		FAX*	
E-mail(事務局から連絡することがありますので、メールアドレスをお持ちの方は必ずご記入ください)*			
行った日* 年 月 日		行った場所*	参加人数 メンバー 人 サポーター 人
活動のタイトル		活動の種類:(Oを付けて下さい。複数選択可) リサイクル・生活/水/ごみ・清掃活動/ 自然観察/大気/交流会/ その他()	
活動の内容			
参加者の様子			
感想・気づいたこと・考えたこと			
その他			
ウェブサイト・ニュースレター・報告書への掲載 上記の活動報告(添付写真を含む)をこどもエコクラブウェブサイト、ニュースレター、その他こどもエコクラブ関連発行物に掲載することについて承諾していただけますか?なお、クラブ名のみ掲載を承諾された場合は、ウェブサイトのみでの掲載になります。また、*が付いている箇所はサイトには掲載されません。			
該当箇所に Oを付けてください。	掲載を承諾する	クラブ名のみ 掲載を承諾する	承諾しない

エコまる
がんばりアースクラブのリーダー。
ちよっぴりのんびり屋なんだ。



エコまる

あったかハート
あたたかいハートで
みんなのこころを暖かくするの。
の。



あったかハート

かるいフットワーク
なんでもにこやかにやってみる！
でもずこずこあわてたほうやねん。



かるいフットワーク

やわらかアタマ
やわらかアタマで
みんなのこころを癒すの。
の。



やわらかアタマ

チャレンジゴコロ
失敗するよもあきらめず、
まじめなこころで何でもチャレンジ！



チャレンジゴコロ

エコねえ
アースクラブのサポーター。
みんなのこころを見守ってるわ。



エコねえ

がんばり アースクラブ

こどもエコクラブの
キャラクターです。
エコねえと5人のなかまが、
地球の環境を守るために
活躍しています

こどもエコクラブ憲章

1. 私たちは、生命を生み、育てくれる『水と緑の惑星・地球』を愛し、未来に引き継ぎます。
2. 私たちは、自分たちの暮らしや身のまわりの環境に関心を持ち、地球とともに生きていくための努力を続けます。
3. 私たちは、世界中のなかまと、手をたずさえて、地球を守るために活動を続けます。

私たちは、夢を忘れずに、夢を追い続けます。



秋田県こどもエコクラブ事務局

秋田県生活環境部 温暖化対策課 環境活動推進班

〒010-8570 秋田県秋田市山王4-1-1
TEL 018-860-1560
FAX 018-860-3881



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は1,000部印刷し、一部211.68円です。